



新平成29年度を迎えて

CTF 松阪も4月から新年度を迎えます。28年度は山田会長が新会長となり事業を進めてまいりました。おかげさまで会員皆様のご支援により無事事業を進めることができました。ありがとうございます。新年度も引き続きよろしくお願いいたします。

さて平成29年度のCTF 松阪通常総会が5月に開催されます。詳細につきましては、正会員の皆さまには別途ご案内(4月下旬)を差し上げますので、多数ご参加いただき、建設的なご意見をくださいますようお願いいたします。

以下に昨年度の活動実績を報告させていただくとともに、今年度もご支援・ご協力をお願いいたします。



CTF 松阪 平成28年度活動実績

☆障がい者対象個人向けパソコン講座開催	42回	受講者延	180名
☆ワーク会員スキルアップ研修会開催	20回	受講者延	39名
☆会員スキルアップ研修会開催	3回	受講者延	32名
☆作って楽しむパソコン講座開催	6回	受講者延	33名
☆会員親睦会開催	1回	参加者	16名
☆障がい者・難病患者宅ITサポート訪問	31回		
☆IT関連事業受注による障がい者就労・自立支援	6件		
☆会報(CTF通信)発行(月刊)	12回		



さくら

やっと桜の花の季節になりましたね。窓を開ければそこは満開の桜が、毎年観ていますがやっぱり桜はいいですね。なんか心がウキウキします。

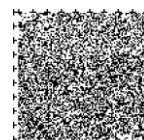
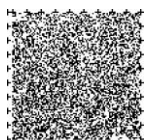
古くから日本人に親しまれている桜ですが、「さくら」という名前は、何から由来しているのでしょうか…。

「さくら」の語源には諸説あるようですが、特に日本神話に登場する「木花咲耶姫(このはなさくやひめ)」という女性の神様の名前が由来とされている説が有名ですね。また小野小町はこのような艶めかしい歌を詠んでいますよ。

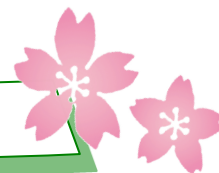


「花の色は うつりけりな いたづらに わが身世にふる ながめせしまに」小野 小町
うふふふ・・・

今月号は文字数が多いので、第1ページ、第3ページ、第4ページにSPコードを2個付けてあります。第1ページ、第3ページ、第4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。



Word 文字数をすばやくカウントする



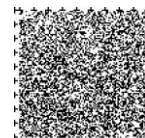
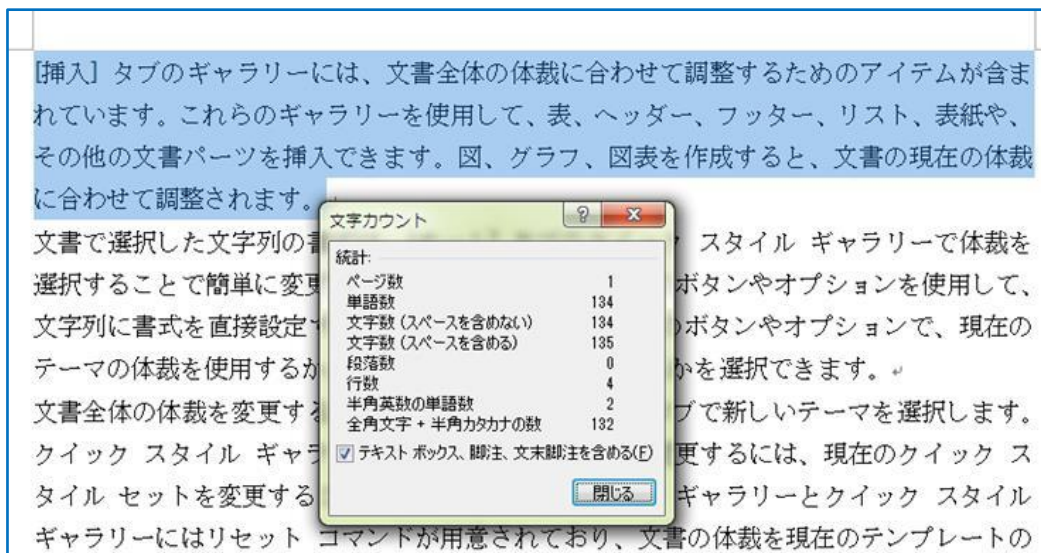
文字数制限がある原稿を書く場合、「文字カウント」の機能を使うと便利である。選択した範囲や文章全体の文字数や行数などをすばやく算出してくれる方法を紹介する。



1. 「校閲」→「文字カウント」を選択する。
2. 文字カウントのダイアログボックスが出現し、文字数や段落数分かる。



- ※ ショートカットキーでは、[Shift] + [Ctrl] + [G]で出現する。
- ※ 「文字カウント」は、任意の範囲を選択し、範囲内の文字数もカウントできる。





活動報告

【3月】

障がい者対象個人向けパソコン講座

(7日、14日、21日)

IT サポート訪問

(2日)



活動予定

【4月】

役員理事会

8日

市立第一公民館 13:30~16:00

障がい者対象個人向けパソコン講座

11日、18日、25日

松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30



徒然なるままに

お伊勢さん 125社というのをご存じじゃるか？

前回までは松阪市内にある神社18社を紹介したのう。今回からはほんの少し足を伸ばそう。小津ランプから始まる国道42号線は、宮町で大きくカーブして尾鷲の方へ向かうが、そこを曲がらずまっすぐ進むと伊勢まで通じる県道37号線になるんじゃ。この37号線は何十年か前には国道23号と呼ばれておっのう、日本初の有料道路であったとか。その県道37号線をまっすぐ進み、櫛田川、金剛坂を越えると、やがて有爾中（うになか）の交差点に来るのじゃ。

ここを右折すると五ヶ所へ通じるサニーロードとなり、左折すると斎宮に近いのう。もう少しまっすぐ進み、湯田二の交差点の次の信号を右折じゃ。300mくらい行くと「湯田神社」がある、と言ってもわしは随分と道に迷った。鎮守の杜らしいものが数多くある一方、案内標識も何もないのじゃ。最初は行き過ぎてしまい地元の方に尋ねたら、「お伊勢さんの・・・」という返事で、「湯田神社」という名前は地元で余り有名ではないらしいわい。

湯田神社は内宮の摂社で、大歳御祖命（おおとしのみおやのみこと）をお祭りしておる。湯田とは、神田の意味の“斎田（ゆた）”からきており、昔この辺りは神宮の神田だったようじゃ。祭神はこの土地の農耕守護の神様じゃ。入口を入るとすぐに鳥居と本殿があった。

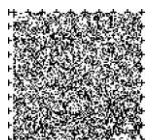
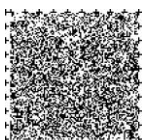
寒い日じゃったから早々にお参りをすませて県道へ戻り、少し伊勢寄りのあじへいラーメンで店名のついたラーメンを食べたんじゃ。温かくて美味しかったのう！



湯田神社の鎮守の杜



湯田神社の鳥居と本殿



今月は、IT サポート訪問等でお世話になっていますT. S様からご投稿いただきました。



リレー随筆

167

北海道東部の旅

今回は北海道東部の旅に出た。この旅では、朝一の便が取れなくて昼ごろ着く便でした。一路東へ（網走方面）と山中の高速道路をひた走るがまだ変化がない。すると山陰から忽然とノッポの建物が現れた。ひときわ目立つトナム・リゾートホテルが山の中に異様な姿見せている。

今日はこのままホテルへと車を進める。目指すホテルは湖のほとりの一軒宿、土道や山道で少し不安だが一路宿を目指す。待望の宿が静かな林の中に現れた。その先には静かに佇む湖が望める。まずは一休みだ。お茶でも頂こうか、後はディナーが楽しみです。

湖畔のこの宿は、チミケップ湖で一軒だけのお宿です。翌朝は鏡のような湖にボートを浮かべ一時を過ごす。ティータイムにはリスのお出ましである。よく慣れているのか愛嬌のあるしぐさが癒される～。

二日目は、オンネトー、野中温泉、そして摩周湖、釧路を目指す。摩周湖では、霧の摩周湖と言うが見えるは霧ばかり、残念と思い車を進める。第一展望台に寄ってみるとなんと幸運な事に霧が晴れ、見晴らしよく湖面を見ることができた。

二日目の宿は、釧路湿原を見渡せる高台にある小さなお宿。シカの出迎えもあり、ここでもまた癒される。

三日目は、おいしい蕎麦と土産を求めて進む先は帯広です。お昼は広大な畑の中を蕎麦屋さんを探し求めて、さまよいながら車を進める。美味しかった～。土産を買い後は帰路に就く。

帰ってから聞いた話では、野中温泉で火山ガスによる中毒者が出たとか。無事帰れてよかった～。



チミケップ湖



リスのお出迎え



霧の摩周湖



編集後記

3月は年度末のため地区の総会や資料作成、打合せ、役員引継などイベント満載でした。CTF 松阪も総会が近づいてきましたので資料作りで忙しくなります。

今年の桜は寒さのせいかわれ年より遅れているようですが、日々桜の蕾も膨らみ暖かくなれば一挙に咲き始めると思われます。桜に下で一杯飲むのは格

別ですが、この時期花冷えなどまだまだ寒い日もありますので、体調には気をつけてくださいね。



CTF 通信第 169 号

2017年（平成29年）4月発行
発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 山田 則 男

住 所 〒515-0081

松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://ctf.dip.jp/>

